宿品 TOPICS

ホッケー日本代表　青物横丁商店街訪問

令和6年3月2日（土）ホッケー日本代表のみなさまが、青物横丁商店街を訪れました。東京2020大会で、大井ホッケー競技場が整備されたことをきっかけとして、しながわホッケー地域応援プロジェクト（会長:島敏生（区商連会長）副会長:堀江新三ほか　共催:品川区）が立ち上がり、ホッケーを応援するオールしながわの活動がスタートしました。

このプロジェクトの一環として、今回の商店街訪問が実現しました！ホッケー女子日本代表「さくらジャパン」は、パリ五輪出場を決め、メダル獲得に向け挑戦を続けています！オリンピックのレガシーとして、地元品川・商店街とともに盛り上げていきましょう！



応援激アツ!!　ホッケー×品川区商店街

今年度も商店街ではホッケー競技への応援をおこなってきました。

3月2日(土)・3日(日)、未来の日本代表選手を目指す小学生による「U-12オールスター戦」が大井ホッケー競技場でおこなわれ全国からの来場者に豚汁・お汁粉を提供し大変喜ばれました。

他にも女子日本代表「さくらジャパン」がパリ五輪出場を決めたことを記念し、青物横丁・立会川龍馬通り・戸越公園南口の商店街に横断幕を掲げお祝いをしました。日本代表選手には戸越公園でおこなわれたイベント「とごすぽ」に来場していただき、子どもたちと一緒につなひき大会に参加し、地域一体となってホッケーのアピールをすることができました。

これからもみんなでホッケーを応援しよう！（品川区商店街連合会 事務局長 玉野浩太郎）



品川学園東海道ウォーキング

2024年3月9日、品川学園の恒例行事である第20回東海道ウォーキングが開催されました。参加者はウォーキングが220名、委員会やお手伝いの参加者が200人でした。

このイベントは、京急鶴見駅をスタートして六郷橋を渡り、京急蒲田駅を経由して品川学園までの旧東海道15kmをチームごとに歩くものです。沿道には史跡や東海道七福神もあり、地域の方々のご協力のもと、無事に完走することができました。（品川区立品川学園PTA本部　塩原 宏紀）



北一町会 さくらまつり

巷のニュースでは、今年の桜の開花はいつもより早いとの情報が溢れ、我が町会も毎年4月第1日曜日という恒例の日程を1週前倒しにして3月31日（日）にさくらまつりが開催されました。

ところが蓋を開けてみると、当日朝の会場準備中は1分咲きにも満たない程度の開花状況。

しかし天候に恵まれ暖かい花見日和で、オープニングの和太鼓演奏で幕を開けると写真のような大勢の来場者で大賑わいとなりました。

そしてこの暖かさと盛り上がりに釣られたか、さくらの花も一気に開きはじめ、昼過ぎには驚くことに2〜3分咲きの状況にまでなり、さくらまつりらしい雰囲気に包まれました。また、一般の来場者だけでなく、来賓として新井副区長をはじめ近隣の町会・自治会長や役員、学校関係、議員関係の皆さまもご来場いただき大盛況のうちに終了となりました。

お手伝いをいただいた北品川一丁目町会、北品川本通り商店会関係者の皆さま、大変お疲れさまでした。（大越 章光）





北浜の春を祝う会

久しぶりの青空の下、3月30日の土曜日、北浜公園にて「北浜の春を祝う会」を開催しました。ご近所さんや、北浜こども冒険ひろばに小さな頃遊びに来ていた子どもたちなど、懐かしい方々が沢山集まってくださいました。

今年は例年よりも桜の開花が遅かったため、企画段階では葉桜になってしまうかもしれないね〜なんて話しもしていたのですが、まさかの開花前での開催となりました。目まぐるしく変化する世の中に、「のんびりしたっていいんだよ」なんて、語りかけてくれたのかもしれませんね。

まちのなかに、子ども達の笑い声が響き、それを見守る大人が元気をもらったり、そんな風景がこれからも広がっていってほしいなと、改めて感じた1日でした。



旧東海道品川宿周辺 まちづくり協議会 会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく!
どんな提案もオッケー、どなたでもウェルカム、すべてオープンです。
品川宿では今日もどこかで何だか楽しそうなことが動いています。
お預かりした会費は各プロジェクトの運営費としています。

1. 月例運営委員会　毎月最終火曜日20時〜（年末など変更あり）
　場所：品川宿交流館　どなたでも見学、参加、提案オッケーです！
2. 広報活動（会報「みこしだこ」、「品川宿かわら版」の発行、HP・FB運用など）
3. 品川宿交流館、南品川櫻河岸 まちなか観光案内所の運営
　（来宿者へのおもてなし、地域交流、活動・イベント受入など）
4. サポート事業（区内学校支援、伝統文化実演、ホッケー、サッカースクールなど）
5. 地域事業の主催・共催・協力（しながわ宿場まつり、しながわ運河まつり、品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会、品川宿史談会、灯篭プロジェクト、品川宿ハロウィンなど他多数）
6. 応援プロジェクト（ゲストハウス品川宿、ドキュメント、わいわい晩ごはんなど多数）

◎年会費／団体・法人 30,000円　個人 10,000円
一度遊びにいらしてください。ご連絡お待ちしています！

品川区北品川2-28-19　品川宿交流館
電話 03-3472-4772　FAX 03-3472-4770　メール machikyo@west.cts.ne.jp

HPは こちら

発行：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

東海道品川宿
宿品 会報みこしだこ
2024年 新年度版
2024年5月発行 第62号

令和6年
新春 賀詞交歓会





去る令和５年１月23日（火）に東京マリオットホテルにて、実に3年ぶりとなる新春賀詞交歓会を開催することができました。

おかげさまで森澤区長をはじめ多くの皆さまにご臨席いただき、新年にふさわしく華やかな時間となりましたことを心より御礼申し上げます。こうして久しぶりにお会いする会員をはじめとした、平素よりご理解・ご協力を賜っております皆さまのお顔を拝見し、挨拶をさせていただきながら、当協議会はコロナ禍を経てもなお大勢の皆さまに支えられながら乗り越えて来たのかと胸が熱くなる思いでした。

また会場には、本年開催されますオリンピックパリ2024大会女子ホッケー競技に出場が決まり、メダル獲得を目指す日本代表 及川 栞選手、そして来年開催されるデフリンピック東京2025大会で、金メダルを目指すデフサッカーの元日本代表監督 植松 隼人 氏がご来場くださり、会場は大いに盛り上がりました。

このような多くの皆さまの前で、当協議会が取り組んでおります「交流事業」「まち並み整備事業」「施設運営事業」「水辺事業」などについて、改めて各担当者より活動紹介と今年度の抱負を発表をさせていただき、今後の活発な活動へのご指導、ご協力、ご支援のお願いの場を頂戴できたことを心から嬉しく思っております。

最後に賀詞交換会開催において、品川宿らしく広い世代にわたる会員の皆さま一人一人が自主的に運営に携わってくださり、盛会を成せたことに改めてお礼申し上げます。また、コロナ禍でやむを得ない休会はありましたが、これまで途絶えることなく毎月のまちづくり協議会運営委員会が続けられていることそのことが、協議会の最大の力であり宝です。

今年度もこのような頼りがいのある運営委員や、日頃からお力添えをいただいている皆さまと共に、品川宿や周辺を盛り立てていく、新たな一年に向け心と力を合わせていきたいと思います。

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
会長　堀江 新三

交流事業

街道松をつなぐ

昨年11月、蒲原宿場まつりで贈呈された「三保松原の松」が、令和6年3月19日に、品川寺に植樹されました。「三保松原」は、世界文化遺産である富士山の「構成資産」として登録されています。

街道松を通じた交流にご協力いただきました、静岡市、品川区、品川寺の皆様、今回のご縁をつくっていただいた東海道町民生活歴史館の志田様にこの場を借りて御礼を申し上げます。街道松をつなぐ事業は、平成4年（1992年）からスタートし、各宿からの寄贈を賜り、現在13宿18本の街道松が旧東海道沿いに植樹されています。

これからも、各宿場町との「街道松」をつなぐ事業を通じて、東海道品川宿の景観づくりを広げていきたいと思います。



第16回　東海道検定

3月3日の日曜日、特定非営利活動法人 歴史の道東海道宿駅会議 東海道検定委員会が主催する東海道検定が実施された。今年が16回目、東京・神奈川・静岡・愛知・三重・滋賀・大坂の全国7つの会場を使い、東京地区の会場は品川宿交流館4階。2級が2名、3級が9名（内1名欠席）の受検者が来場、大坂からの方もいた。例年通り街道文庫の田中さんが試験官、最初は厳粛なムードで進行するが、だんだん和やかな雰囲気になっていく。殆んどの受検者は30～40分で退出するけど、90分たっぷり使う方もいる。退出された方の中には1階に立ち寄ってくださって、東海道を歩いた印象や他の街道の事などを話してお帰りになる。ここから新たな交流が生まれてくれたら嬉しいですね。お手伝い頂いた堀江さん、田中さん、大越さん、吉田さん、竹中さんありがとうございました。　（長谷山　純）



水辺プロジェクト

目黒川マナー向上委員会実施イベント

3月30日、31日、目黒川の水域で東品川海上公園船付場と五反田リバーステーションを利用し、勝島運河倶楽部、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会、なぎさの会によって、シーカヤック・Eボート・SUPを用いた体験会が実施され、両日合わせ延べ約50名が参加しました。

目的は、船着場と水辺の有効活用、安全航行教育、操作技術とルールやマナーの向上、水辺事業者の方々との留意事項の確認などを含む社会実験です。

初回となったこの季節は桜の開花時期でもあり、多くの花見遊覧船も目黒川を航行します。そのため安全な相互共有を考慮し、時間帯は8時～10時に設定しました。各種船の桟橋利用説明、安全講習、技術指導及び水上でのマナーやルールについて事前講習もあり、参加者の認識も深まったと思います。

天候にも恵まれ最高の水辺日和でとても有意義な体験会となりました。河川下水道課水辺の係の皆様はじめ関係者の皆様、ご協力ありがとうございました！（なぎさの会　忠鉢和則）



「感謝のお掃除」しながわ運河まつり2024

4月12日のグランド企画に始まり14日までの3日間、しながわ運河まつり2024は4万人を超えるお客様にご来場いただきました。

数年前よりご協力いただいているごみの持ち帰りもすっかり定着し、会場内や近隣へのポイ捨てを大幅に減らすことができました。ひとえにご来場いただく皆様のマナーのおかげだと感謝しています。

しかしながら少なからず汚れてしまう箇所については、今回の反省と次回への企画を話し合いながら、楽しくお掃除させていただきました。
（なぎさの会　小日向亮輔）





研究事業

4つの観光PR事業を実施

令和5年度も品川区からのご支援をいただき、以下の4つの観光PR事業を実施することができた。



1 品川宿交流館での写真展の実施

写真展は、**品川宿の子どもたち「卒業生、全員集合　1975、76、77年卒」**のタイトルで、品川宿周辺の全6小学校の卒業アルバム（1975年、76年、77年卒）を中心に構成した。

この年の卒業生は、東京オリンピック前後に生まれて、日本の高度経済成長、都市への人口集中、公害、そして交通事故の急増、などの真っ只中に子ども時代を過ごした、まさに典型的な昭和の子どもたちだ。この激動の時代をたくましく生き、現在60歳代になろうとしているかつての子どもたちは、一方でどんな夢を抱いていたのだろうか。展示では当時の時代背景を含め、子どもたち一人一人の夢についても紹介した。

見に来られた方たちは、SNSや口コミを通じて同級生同士が連絡を取り合ったり、表の大型ポスターを見ながらクラスメートに知らせたり、みなさん「なつかしい！」と、楽しんでくださっていた。品川宿交流館　1～2階で令和5年11月1日～令和6年3月31日に実施。

2 体験型プログラムを提供するまち歩きの実施

体験+まち歩きは「猟師町の江戸前尽くし」をテーマに、品川宿を代表する4店とタイアップし、品川宿ならではの「味」を楽しむ体験とまち歩きとを組み合わせ、モニターツアーとして実施した。

ご存知の通り猟師町は、かつて将軍に江戸前の魚介類を納めた「御菜肴八ヶ浦」の元締めとして知られ、品川宿は江戸前料理の発祥の地ともいえる。そして寄木神社の境内に「江戸漁業根元之碑」を建立した作家の本山荻舟は、その編著書「飲食事典」の中で猟師町に伝わる「品川飯」と「品川汁」を紹介している。

ツアーの基本的な構成は、交流館にて「猟師町」と「江戸前」についてレクチャー。まち歩き（南コース）：品川宿交流館～寄木神社～旧海岸線～南馬場問屋場～天妙国寺。（北コース）：品川宿交流館～寄木神社～利田神社～北品川橋とし、その後に各店で「品川宿の味」を体験した。

ご協力いただいたのは、**「寿司しながわ葵」**、**「コージコルディアーレ」**、**「そば処いってつ」**、「HONSEN」の4店で、それぞれ2回実施し、計24名のモニターにご参加いただいた。このツアーをもとに今後、ゲストハウス品川宿（宿場ジャパン）とも協力し、品川宿の観光PRに貢献するプログラムの開発につなげたいと考えている。



3 品川宿PR動画の制作

PR動画

・**「品川宿人物図会」**は2本。

その1）は皆さんよくご存知の**佐藤茂子さん**。まちづくり協議会が品川宿交流館で運営する駄菓子屋「またあした」のおばちゃん。品川宿とまちづくり活動にとって、なくてはならない人材だ。

その2）は北品川のゲストハウス品川宿（宿場ジャパン）のスタッフ、**金澤ミナさん**。品川宿の雑多な人々の交流、毎月のように繰り返される祭りやイベントを楽しむ一方、そこに新しい観光ビジネスの可能性を見出しているお一人である。

・**「品川宿名所図会」**は2本。案内人はいずれも街道文庫の**田中義巳さん**。

その1）は江戸名所図会に「寄木明神社」として描かれている寄木神社。この洌崎の周辺は「神輿洗いの図」を含め3点も描かれており、江戸の昔から観光に値する土地であったことがわかる。

その2）は江戸名所図会に**「品川駅」**として描かれている釜屋跡と「品川寺」。「品川駅」には明確な説明はないが、もう1点の**「品川寺」**の絵と付き合わせ、暖簾の文字を読み解くと、それが品川寺の門前にあった「釜屋」であることがわかる。釜屋は新撰組が鳥羽伏見の戦の後に投宿した旅籠としても知られている。

以下からぜひ一度、品川宿のPR動画をご視聴いただきたい。

①まちづくり協議会
ホームページ

② YouTube　チャンネル名
「品川宿まちづくり」、「品川宿アーカイブ」



4 英語版品川宿まち歩きマップの作成

英語版品川宿まち歩きマップは、令和4年度に全面改訂した日本語版をベースに15年ぶりに情報を一新することができた。「まち歩きマップ」は、観光PRの基本中の基本ツールだ。近隣のホテルにも配布し、増加傾向にあるインバウンドのお客様にご利用いただき、品川宿へ足を運んでいただくきっかけになればと願っている。無料配布。

以上、本年度も品川区文化観光戦略課の皆さんの並々ならぬ熱意とご尽力とによって、4つの事業を実施することができた。心より謝意を表したい。
（佐山吉孝）

品川宿ならではの食を体験できるツアー企画

訪日外国人客数が急速に回復を見せる昨今、品川宿でもオリジナリティのあるツアーを楽しんでいただくため、まちづくり協議会(佐山さん)、宿場トラベルが共同でツアーを企画実施しました。テーマは「品川宿ならではの食を体験できるツアー」。

ツアーでは、葵寿司の林さんをはじめ、品川宿の4店舗(コージコルディアーレ・HONSEN・そば処いってつ)にご協力いただきました。

近隣ホテルのコンシェルジュ、品川宿に引っ越して来られた方々にもご参加いただき、品川宿の歴史紹介、その後実際に品川めしを食べて"猟師町" "江戸前"を感じるというモニターツアーを、4～5名で計8回実施いたしました。

宿場トラベルでは、本ツアーをはじめ、これまでに実施したウォーキングツアーで得た知見を活かし、品川の魅力を伝えるツアーを作成中です。和菓子体験や坐禅体験など、東海道品川宿のお店や個人との連携をさらに深めるツアーを企画して参ります。

今後も、品川宿に再来訪したくなるような体験を地域の皆様にもご協力いただきながら造成していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。
（宿場JAPAN /宿場トラベル 渡邊/金澤）

